

(案)

「第六次 新宿区子ども読書活動推進計画」の実績報告

(令和 6 年度)

1	内容	期間中の目標	令和6年度実績
子ども読書活動推進計画の趣旨普及	広報紙・ホームページ等を活用して子ども読書活動推進計画の趣旨普及に努めます。	引き続き、ホームページや広報、イベントなどを通じて、子ども読書活動推進計画の趣旨について周知していきます。	図書館内に閲覧可能な「第六次 新宿区子ども読書活動推進計画」冊子や概要版冊子を設置した。
推進計画全所管課			評価 計画冊子や概要版冊子の設置により、計画の趣旨について普及することができた。 課題 今後も「第六次 新宿区子ども読書活動推進計画」の趣旨について周知するとともに子どもの読書環境の整備を進めていく。
2	内容	期間中の目標	令和6年度実績
「子ども読書の日」等の趣旨普及	4月23日の「子ども読書の日」と4月23日～5月12日の「こどもの読書週間」を子どもの読書活動の趣旨普及に努める機会とします。	引き続き、読書や図書館に興味を持てるイベントを開催するとともに、「子ども読書の日」や「こどもの読書週間」のポスター掲示を行って、趣旨普及に努めます。	教育広報紙『しんじゅくの教育』に関連記事を掲載し、周知を図った。 こどもの読書週間には「こども映画会」を開催し、関連の展示を行うとともに、「子ども読書の日」「こどもの読書週間」の普及啓発ポスターを掲示した。
推進計画全所管課			評価 教育広報紙への掲載、ポスターの掲示、イベント等の実施により「子ども読書の日」「こどもの読書週間」の趣旨について普及することができた。 課題 今後もポスター掲示やイベントなどにより、より多くの保護者・子どもに関心を持ってもらう必要がある。
3	内容	期間中の目標	令和6年度実績
『しんじゅくの教育』への掲載	子どもの読書活動の趣旨普及や区立図書館や学校図書館の取組みの効果的な情報提供を目的に、教育広報紙『しんじゅくの教育』に掲載します。	イベントの告知や子どもの発達段階に応じた本の紹介、学校図書館の活動状況等、子どもの読書活動に関する記事を掲載し、広く情報提供を行います。	年4回発行される教育広報紙『しんじゅくの教育』に、子どもの読書活動に関する特集記事や図書館のお知らせを掲載した。 ・「夏休みは図書館へ行こう」 ・「読書の季節 おすすめの本のご紹介！（ブックリスト『クローバー』）」 ・「新宿区立図書館を使った調べる学習コンクール」等
中央図書館 教育調整課 教育支援課			評価 教育広報紙への掲載を通して、図書館の取組みを継続的に周知することができた。 課題 引き続き教育広報紙を通じた周知を図っていく。

4	内容	期間中の目標	令和6年度実績
新宿子育てメッセにおける子ども読書活動の周知	区内の子育て支援団体・子育て支援事業の周知を目的とした「新宿子育てメッセ」に出展し、区立図書館の利用案内や利用登録の促進、「絵本でふれあう子育て支援」の周知など子どもの読書活動の普及に努めます。	子どもの読書活動の普及のため、「新宿子育てメッセ」に出展し、区立図書館の利用促進に努めます。	子育てメッセに出展し、新宿区立図書館の利用案内、各館行事の案内、子育て事業に関する案内を行うとともに、読み聞かせを実施した。
			評価 子育てメッセの来場者に対し、子どもの読書活動や図書館への関心を高めることができた。
			課題 子育てメッセに参加している区内の子育て関係団体との交流を深める中で、子どもの読書活動について更に普及していく必要がある。
中央図書館 子育て支援課			
5	内容	期間中の目標	令和6年度実績
プレママ・プレパパ保護者への読み聞かせ講座の実施	妊娠期の家庭（プレママ・プレパパ）や乳幼児期の保護者を対象に、専門講師から家庭での読書の楽しさや意義を学び、本の読み方や選び方を体験します。	妊娠期のご家庭を中心とした読み聞かせ講習会等を実施し、家庭での読み聞かせの普及を図ります。	幼い頃からの読書が子どもの成長に果たす意義を周知するため、保護者向け講座を実施した。 ・「親子で楽しむ絵本とふれあい遊び」 参加者：10名 (こども図書館) ・「おひざにおいでつのはず絵本講座 絵本の世界へようこそ」 参加者：10名 (角筈図書館) ・「親子で一緒に！楽しくリフレッシュ体操」 参加者：6名 (下落合図書館) ほか
			評価 参加者は講師の話を熱心に聞いており、講座実施後に実施したアンケートでも非常に好評であった。
			課題 来年度以降も参加者に喜んでもらえるような講座を継続する必要がある。 また、プレママ・プレパパの参加者が少なかった館もあったため、来館者に声をかけるなど、積極的なイベントの周知を図る必要がある。
中央図書館			

6	内容	期間中の目標	令和6年度実績
家庭読書の推進	各家庭において家族等で本や絵本を読み、語り合う「家庭読書」を普及します。 また、読書習慣の醸成につなげるため、読書の記録が残せる読書手帳等の充実を図ります。	子どもが読書を楽しみ、読書を通じて家族のふれあいが行われるよう「家庭読書」を普及します。	各区立図書館では、読書手帳やブックリストを配布したほか、スタンプラリーや謎解き等のイベントを実施し、家庭読書の推進に取り組んだ。
推進計画全所管課			評価 各区立図書館が様々な方法を用いてこどもの家庭読書の推進に取り組むことができた。 課題 今後も読書手帳やブックリストの配布、イベントの実施により家庭読書の普及を図る必要がある。
7	内容	期間中の目標	令和6年度実績
外国語と多文化に親しむお話し会と外国語図書の実践	外国語を母語とする子どもに、母語に親しむことができるよう、外国語絵本の収集を行い、外国語のお話し会を実施します。 また、多くの子どもたちが様々な国や民族の文化を知り、きっかけとなるように、図書展示等を実施します。	学校と連携して、外国語を母語とする子どもが読書に親しむ機会を提供します。 また、資料の充実を図るとともに、様々な国や民族の文化への相互理解が深まるよう努めます。	新たに洋書や外国語を勉強する資料を購入した。 四谷図書館ではフランス語でのおはなし会やパネルシアター、大久保図書館では英語、中国語、韓国語、シンハラ語、アラビア語、トルコ語、チェコ語、ポーランド語での多言語おはなし会を実施した。また、北新宿図書館では「日本語に親しむおはなし会」を実施した。 評価 新たに洋書を購入したことで外国語の書架を更新することができた。 様々な母語の方が互いの文化を共有する場を提供することができた。 課題 今後も洋書の購入やイベント、展示を実施し、多文化に親しむ空間を作れるよう努めていく必要がある。
中央図書館 教育支援課 学校等			
8	内容	期間中の目標	令和6年度実績
家庭教育講座における読書活動支援	P T Aが主体的に取り組む家庭教育講座への助言を通して、保護者の読書活動を積極的に支援します。	引き続き、読書活動に関する講座開催のほか、ホームページなどを活用し、資料や情報の提供を行います。	読み聞かせの充実等を目的とした講座を開催した。 また、読書活動に関する資料及び情報を提供するなど、各講座ごとに助言等を行った。 評価 読書の楽しさや大切さ、子どもへ読み聞かせを行う際に工夫すべきこと等について保護者が学ぶ機会を設けることができた。 課題 引き続き、保護者に読書の楽しさ及び大切さを周知するため、読書活動に関する資料及び情報を提供する必要がある。
教育支援課			

9	内容	期間中の目標	令和6年度実績
子ども読書講演会の開催	子どもたちや保護者・養育者の読書意欲の向上や、家庭読書のきっかけとなる講演会を実施します。	子どもたち、保護者・養育者に対し、様々なテーマで講演会を開催し、読書意欲を高めます。	子どもや保護者の読書意欲を高めるための講演会を開催した。 ・「杉山亮さんのものがたりライブ」 参加者：53名 (鶴巻図書館) ・「子育て講座 赤ちゃんと一緒に『ベビーマッサージ』と『よみきかせ』」 参加者：5組（子ども6人、大人5人） (西落合図書館) ・「親子で楽しむ絵本ライブ」 参加者：22名 (戸山図書館) ほか
			評価
			講演会の開催により、家庭読書の機会を提供することができた。 また、講演会に関連した図書展示を行うことで親子で図書を選び、親しむきっかけとなった。
			課題
中央図書館			子どもや保護者の読書意欲を高めるため、今後も様々なテーマで講演会を企画する必要がある。
10	内容	期間中の目標	令和6年度実績
絵本でふれあう子育て支援	保健センターで実施する乳幼児健康診査の対象である0歳児に絵本2冊を配付しています。 産婦歯科健診及び育児相談の際に読み聞かせをするとともに保護者・養育者に対して読み聞かせの意義を説明します。 また、3歳児には、絵本1冊を配付し、お話し会を案内するなど区立図書館の利用促進を図ります。	絵本を介して赤ちゃんと保護者・養育者が楽しいひと時を分かち合う機会となるよう支援します。 また、絵本の読み聞かせを通じて家庭読書の推進につなげます。	3～4か月児健診での絵本の配付者数は1,945人、3歳児健診での絵本引換券の配付者数は1,918人だった。令和6年4月から産婦歯科健康相談・育児相談開催時に絵本の読み聞かせを再開するとともに、保護者・養育者に対して読み聞かせの意義を説明した。
			評価
			絵本を介して赤ちゃんと保護者・養育者が楽しいひと時を分かち合える機会となっている。
			課題
中央図書館 保健センター			産婦歯科健康相談・育児相談来所の親子全員に絵本の読み聞かせを体験してもらうための工夫（声掛けのタイミング等）が課題である。3歳児への読み聞かせについては、引き続きこども図書館・地域図書館における同種の取り組みを案内するなどの代替措置が必要である。

11	内容	期間中の目標	令和6年度実績
子ども総合センター・子ども家庭支援センター・児童館等の幼児サークル等における読み聞かせ会の実施	子ども総合センター・子ども家庭支援センター・児童館等で、子育て支援の一環として幼児サークルを実施し、乳幼児親子に、つどいと交流の機会を提供します。幼児サークルのプログラムに読み聞かせを積極的に取り入れ、保護者・養育者と子どもが読書に親しむ機会の提供に努めます。	引き続き、乳幼児の親子につどいと交流の機会を提供し、保護者・養育者と子どもが読書に親しむ機会の提供を行います。	幼児サークルや幼児親子向け行事において、読み聞かせやパネルシアター、布絵本を楽しむ会等読書に関するプログラムを実施し、保護者と子どもが交流しながら読書を楽しんだ。
			評価 幼児サークルや幼児親子向け行事を通じて、保護者と子どもが読書に親しむ機会を継続的に提供し、読書への関心を高めることができた。
			課題 引き続き、幼児親子のつどいと交流の機会を提供し、保護者と子どもが読書に親しむ機会を提供していく。
12	内容	期間中の目標	令和6年度実績
図書館サポーターの育成	子どもたちへの読み聞かせの充実のため、図書館サポーターの育成、スキルアップを図ります。	各館の情報を共有するとともに、サポーターの要望を反映した講習会を開催することで育成を行います。	図書館サポーターのスキルアップを目的に、サポーター講習会し、終了後はサポーター懇談会を行い、図書館職員と図書館サポーターとの意見交換を行った。 ・「絵本って、すごい！」 参加者：16名 (こども図書館) また、図書館サポーターコーディネーター会議を開催し、各館におけるサポーターの活動状況及び課題等について情報共有を行った。
			評価 サポーター懇談会では本の修理や録音図書の制作などのボランティア活動の様子について質問があり、読み聞かせ以外のボランティア活動を共有することができた。 また、図書館サポーターコーディネーター会議の対面での開催は3年ぶりであったが、各館の図書館サポーターの活動状況を知る良い機会になった。
			課題 引き続きサポーターの意見、要望等を伺いながら育成、スキルアップを図るとともに、各館でサポーターの活動状況などについて情報共有を図る必要がある。
中央図書館			

13	内容	期間中の目標	令和6年度実績
新宿区子ども読書活動推進会議の運営	学識経験者、PTAの代表者、読み聞かせ団体、区担当者を構成員とする「新宿区子ども読書活動推進会議」を開催し、本計画に係る検証や意見聴取を行い、事業への反映を図ります。	定期的に会議を開催し、取組みの検証をしていきます。議論された施策について効果的に事業を推進します。	【開催日】 第1回開催 10月10日（木） 第2回開催 1月16日（木） 第3回開催 3月4日（火）（書面開催） 【内容】 「第五次 新宿区子ども読書活動推進計画」の取組み実績に関する報告 令和6年度 新宿区立図書館を使った調べる学習コンクール 実施結果の報告 など
			評価 新宿区立図書館の取組みについて意見交換をすることで、実績を検証を行うことができた。
中央図書館			課題 定期的に会議を開催して「第六次 新宿区子ども読書活動推進計画」の取組み等について報告し、意見を聴取していく。 また、引き続き絵本でふれあう子育て支援事業の絵本の選定を依頼するほか、会議での意見を踏まえ各施策に反映させる必要がある。
14	内容	期間中の目標	令和6年度実績
魅力ある図書の充実	楽しみのためや生活に役立つ図書、探究心を深めるための図書を発達段階に応じて幅広く収集します。 その際には、子どもたちの意見も参考にします。	子ども読書リーダーや中学生・高校生サポーターの意見を取り入れて選書を行い、図書の充実を目指します。	週に一度開催される選書会議等を活用して、区立図書館全館で子どもにとって魅力ある資料を収集した。 また、人気があり利用頻度が高いことで劣化した資料や、情報が古い資料の買替を行った。
			評価 各館それぞれが選書方法を工夫し、資料の購入を行うことができた。 一方で、子ども読書リーダーや中学生・高校生サポーターの意見を取り入れる機会を作ることができなかった。
中央図書館			課題 引き続き調べ学習に役立つ資料や発達段階に応じた資料などを収集する。 また、子ども読書リーダーや中学生・高校生サポーターの意見を聞く機会を設ける必要がある。

15	内容	期間中の目標	令和6年度実績
電子書籍の導入	非来館型サービスの充実、読書バリアフリーの推進及び多様な資料の提供のため、電子書籍を導入します。	情報を収集、整理の上、電子書籍を導入し、サービスの充実を目指します。	令和7年1月の図書館情報システム機器の更新に併せ、電子書籍貸出サービス（しんじゅく電子図書館）の提供を開始した。小説や実用書のほか、書込み等の懸念から、これまでは紙資料では提供が難しかった学習参考書や問題集、ナレーターが朗読するオーディオブックなどをコンテンツとして選定した。
			評価 絵本や児童書読み放題パックをはじめとした電子書籍を契約し、図書館に来館することなく資料の貸出・返却が可能となった。 学習参考書や問題集については、英検に関する資料が多い傾向だが、予定していた電子書籍の導入を実施したことで、令和6年度の目標は達成できたものと評価する。
			課題 SNS等を活用した広報活動を継続するほか、おすすめの資料を「しんじゅく電子図書館」の画面上に表示する特集機能を活用するなど、多くの資料を紹介し広く利用を促すような取組みを行う必要がある。
中央図書館			
16	内容	期間中の目標	令和6年度実績
郷土・新宿を知る図書の充実	新宿区にゆかりのある作家の作品や地域の歴史・文化を紹介する図書館資料の充実に努めます。	展示やレファレンスを活用し、子どもたちに新宿について関心を持ってもらえるよう工夫します。	常設展示やテーマ展示、関連イベント等を活用し、夏目漱石ややなせたかしなどの新宿区ゆかりの作家や歴史、文化の発信を行った。 「体験！型染めでハンカチを染めよう」 参加者：9名 (下落合図書館) 「染のまち歩き～川がつなげる染色工房と染色体験」 参加者：8名 (下落合図書館)
			評価 展示やイベントを行うことで子どもたちが地域の歴史や文化に触れる機会を設けることができた。
			課題 引き続き蔵書の充実に努めるとともに、展示やパスファインダー、関連イベント等を活用し、関心を持ってもらえるよう工夫をする必要がある。
中央図書館			

17	内容	期間中の目標	令和6年度実績
中学生・高校生等向け読書環境の充実	中学生・高校生等の読みたい本や必要とする資料を充実し、区立図書館の利用促進を図ります。	近隣の中学校や高校、中学生・高校生ボランティアと連携して、図書資料の展示や資料収集を行います。	館ごとに近隣の中学校・高校と連携して展示を行ったり、職場体験の際に読んでいるジャンルや希望する本を聞いて選書に活用するなど、中学生・高校生等の利用促進を図るための工夫を行った。
			評価 中学生・高校生等ならではのPOP等の装飾を見て、展示に興味を持つ利用者が見られた。 また、中学生・高校生等の意見を選書に活かすことができた。
中央図書館			課題 中学生・高校生等の利用促進のため、引き続き中学生・高校生の意見を取り入れた展示や選書を行う必要がある。
18	内容	期間中の目標	令和6年度実績
オリンピック・パラリンピック開催の未来への継承	4年に一度開催されるオリンピック・パラリンピックを視野に入れ、国際文化や障害に目を向けてもらうきっかけとします。	国際文化や障害に目を向ける機会として、関連する展示を行い、情報発信していきます。	オリンピック・パラリンピックで種目となった競技に加え、様々な国の民族や文化、障害に関連する図書を収集・展示した。 また、大久保図書館では開催地フランスに関連する資料を展示した。
			評価 オリンピック・パラリンピック関連の資料の貸出数は多くなかったが、様々な国の民族の文化、障害への理解を深める機会を提供することができた。
中央図書館			課題 国際文化や障害に目を向ける良いきっかけとするため、今後も関連する展示などを行うことで子どもたちに情報発信をしていく必要がある。 また、スケートボードやボルダリングなど、新たなオリンピック・パラリンピック競技種目に関する資料も積極的に集める必要がある。

19	内容	期間中の目標	令和6年度実績
図書展示の充実 中央図書館	季節の行事などに関連したものや、テーマを決めて図書を展示し紹介しています。	展示内容を工夫して本の紹介を行い、子どもたちの新たな発見や家庭での話題につながるようにします。	子どもに人気のあるテーマや、季節や時事に関連した資料の展示を行った。 また、図書館で開催したイベントに関連した展示を行うことで、より多くの児童・生徒に興味を持ってもらえるよう工夫した。
			評価 資料を集めて展示するだけでなく、装飾に工夫を凝らすことで、利用者の目を引き、貸出数の増加につなげることができた。
			課題 展示を行うことで、子どもたちが様々な資料と出会う機会を与えることができるため、ニーズの把握や時事への理解を深めていく必要がある。
20	内容	期間中の目標	令和6年度実績
子どもたちによる「おすすめ本紹介コーナー」の設置 中央図書館	子どもたちが好きな本を投書し、掲示する「おすすめ本紹介コーナー」を設置し、子ども同士の情報交換の場とします。	このコーナーが子ども同士の情報交換や、子どもたちの新たな発見の場になるよう工夫します。	「おすすめ本紹介コーナー」には、メッセージカードとポストを設置した。 カードにはコメントを付けて展示するなど、図書館職員との交流の場にできるような工夫に努めた。
			評価 「おすすめ本紹介コーナー」を見た子どもがその図書に興味を持つきっかけとなった。
			課題 「おすすめ本紹介コーナー」を子ども同士の情報交換の場や、図書館職員との交流の場にできるよう引き続き工夫することが必要である。
21	内容	期間中の目標	令和6年度実績
親子同士のふれあいの場の整備 中央図書館	乳幼児とその保護者・養育者が周囲に気兼ねなく絵本を読め、保護者等同士の交流を図ることができる「親子同士のふれあいの場」を「おはなしのへや」の活用や「赤ちゃんタイム」の設定等により、整備します。	乳幼児とその保護者・養育者がより気兼ねなく利用できるよう一層の環境の整備に努めます。	「おはなしのへや」の活用や「赤ちゃんタイム」を設定することによって、乳幼児とその保護者・養育者が気兼ねなく利用できる場を提供することができた。 また、その時間に合わせて小さい子向けおはなし会などのイベントを開催した。
			評価 親子同士のふれあいの場として機能するだけでなく、保護者・養育者の交流にもつなげることができた。
			課題 乳幼児の親子がより気兼ねなく利用できるよう、さらに環境の整備に努める必要がある。

22	内容	期間中の目標	令和6年度実績
新こども図書館の検討	新中央図書館等の建設に併せて、新こども図書館の整備を検討します。	新こども図書館の整備については、新中央図書館等の建設と併せて、検討します。	新中央図書館等の建設と併せて、図書館運営協議会（開催回数：4回）において意見を聴取したほか、1月に同協議会委員による視察（中央区立京橋図書館）を実施した。
			評価 新中央図書館等の建設と併せた検討を行ったことから、目標は達成できたものと評価する。
			課題 図書館基本方針に定める「区民にやさしい知の拠点」という使命にふさわしい新こども図書館の建設を目指し、今後も新中央図書館等の建設と併せて図書館運営協議会において検討を継続する必要がある。
中央図書館			
23	内容	期間中の目標	令和6年度実績
ホームページの充実による情報収集・発信	ホームページ上で区立図書館おすすめの本等を紹介し、子どもが本と出会う機会を設けます。 また、読書活動や関連イベント等に関する情報を分かりやすく収集・発信して、計画の推進と普及に役立てます。	ホームページの情報発信によって、図書の利用・登録につながります。	館内でのイベントや展示の情報を定期的に中央図書館のホームページやX（旧Twitter）、小・中学生、幼稚園児とその保護者向け一斉連絡システム「すぐーる」に掲載した。
			評価 イベントのアンケートによると、館内の掲示物だけでなくホームページを見て参加される方もおり、ホームページやX（旧Twitter）で発信することでイベントの集客に効果があったものと考えられる。
			課題 引き続きホームページや区のX（旧Twitter）を使用して効果的な情報収集・発信を行っていく。
中央図書館			

26	内容	期間中の目標	令和6年度実績
学校向け団体貸出の充実	学校向けの団体貸出として、「学習支援便」と「朝読書セット」を配本します。	学校の意見・要望を把握しながら、必要に応じた資料を配本します。	朝読書セットの貸出や学習支援便による資料提供を行った。 〔朝読書セット〕 令和5年度 554セット 令和6年度 426セット 24%減 〔学習支援便〕 令和5年度 297件 令和6年度 319件 7%増
			評価 教科書の改訂に伴い、大幅な蔵書の刷新を行った。 具体的には、教科書から削除された「くちばし」等の単元に合わせた蔵書を除籍し、代わりに新規追加された「ロボット」「つぼみ」等の単元に対応する本の受入れを行った。
			課題 教科書改訂に伴う変化に対応するため、これからも学校の要望を分析するとともに、新規出版される本を速やかに受け入れる必要がある。
中央図書館 教育支援課 学校等			
27	内容	期間中の目標	令和6年度実績
出張お話し会・施設訪問の実施	本に親しみを持ってもらうために、学校や保育園、児童館など要望のあるところへ図書館職員が出張してお話し会を実施します。	子どもたちが本に親しむことができるよう出張お話し会・施設訪問を実施します。	学校や保育園、児童館などで出張おはなし会を実施した。 令和5年度 158件 令和6年度 162件 3%増
			評価 園児や生徒が本や図書館に親しみを持つきっかけを提供することができた。 また、出張おはなし会に参加した子どもが図書館のおはなし会に参加した例もあった。
			課題 引き続き定期的に出張おはなし会を開催することで図書館に親しみを持ってもらい、来館につなげていく必要がある。
中央図書館			

28	内容	期間中の目標	令和6年度実績
多様な子どもたちに対する読書活動の支援	障害のある子どもや日本語指導を必要とする子ども等、多様な子どもたちに対して、様々な興味や関心に応えられるようにするための環境整備を図ります。	多様な子どもたちに対して、布絵本やマルチメディアデージー、やさしい日本語の本など、個々の状況に適した資料を提供し、すべての子どもたちが読書の喜びを体験し、読書に親しめるようにします。	布絵本や点字絵本、LLブック、大活字本、マルチメディアデージー、英語の絵本などを提供したほか、ユニバーサルデザインのコミュニケーションボードやリーディングトラッカーを図書館のカウンターに設置している。 また、紙に印刷された文字を読むのが難しいなど、特別なニーズのある子どもたちを対象とした「りんごの棚」の展示を行った。
			評価 各種展示を通じて、図書館が提供している多様な子どもたちに対するサービスを広く周知することができた。
			課題 引き続き、より多くの人にとって心地よく使いやすいような図書館設備や読書環境を検討し、整えていく。 また、布絵本や点字絵本等の資料の購入も引き続き積極的に行う必要がある。
中央図書館 教育支援課 学校等			
29	内容	期間中の目標	令和6年度実績
病院配本サービスの推進	区内の病院に入院している子どもたちへの配本サービスの充実を図ります。	病院との連携を深め、入院中の子どもたちが読書に親しむ機会の充実を図ります。	以下の区内の病院に隔月でそれぞれ150冊程度の本を届けた。 ・国立国際医療研究センター病院 ・東京女子医科大学病院（院内3か所） ・東京医科大学病院
			評価 病院経由で入院中の子どもから本の種類や冊数等の希望に沿うような配本をしており、読書活動の支援ができています。
			課題 今後も病院と連携しながら配本を続ける必要がある。
中央図書館			

30	内容	期間中の目標	令和6年度実績
区立図書館でのお話会の充実	お話し会を区立図書館全館で定例的に実施しています。 また、定例のお話し会のほかにも季節の行事に合わせたものや外国語によるお話し会も実施します。	子どもたちが新たな本や季節に合った本と出会えるように、お話し会の内容を工夫して充実させます。	各区立図書館でお話し会を実施した。 令和5年度 930回 令和6年度 902回 3%減
			評価 定期的に開催することでおはなし会を定着させることができた。 季節や行事、当日の天気などを意識してプログラムを構成したほか、手遊び、わらべうた、紙芝居、大型絵本などを組み合わせて子どもたちにとって楽しい時間となるよう心掛けた。
			課題 引き続き、おはなし会の周知に努める。 また、研修などを通じて職員のスキルアップを図る必要がある。
中央図書館			
31	内容	期間中の目標	令和6年度実績
子ども読書リーダーの育成と活動機会の提供	子どもたち自身が読書活動の中心となることを目指し、「子ども読書リーダー」を育成します。 また、「子ども読書リーダー」に認定された子どもに活動する機会を提供します。	小学4年生から中学生を対象に本や図書館の楽しさが実感できる講座を開催します。また、子ども読書リーダーに認定された子どもが活動することで、子どもの区立図書館利用を促進します。	本や図書館の楽しさが実感できる講座を開催した。 ・「ジュニアボランティアグループ 戸山おはなし隊」 参加者：5名 (戸山図書館) ・「図書館員になろう！」 参加者：6名 (中町図書館) ・「『絵本を届ける運動』をしてみよう」 参加者：6名 (大久保図書館) ほか
			評価 参加した子どもたちは積極的に取り組んでいた。「子ども読書リーダー」として、読書活動にも積極的に関わっていく人材を育成する機会となっていると評価する。
			課題 子ども読書リーダーに認定された子どもが少なく活動実績がないため、本人の希望を聞きながら事業の実施方法を検討する必要がある。
中央図書館			

32	内容	期間中の目標	令和6年度実績
利用者登録の推進	行事などの機会を通して利用者登録の増加を図り、区立図書館利用の促進につなげます。 また、小学生及び幼稚園・保育園・子ども園等に対して区立図書館利用登録を呼びかけます。	図書館を利用しない子どもたちに区立図書館をアピールできるよう、魅力あるイベントを企画します。	新小学校一年生を対象とした区立図書館の利用者登録及び利用促進を例年どおり4月に行うとともに、幼稚園・保育園・こども園等にポスターの掲示を依頼した。 その他の利用促進は図書館見学や出張おはなし会などの機会を活用し適宜行った。
			評価
			各種イベントの機会を活用し、積極的に区立図書館の利用や利用者登録の促進を図った。
			課題
中央図書館			普段図書館を利用しない子どもたちに区立図書館をアピールできるような、魅力あるイベントを企画するなどの工夫が必要である。
33	内容	期間中の目標	令和6年度実績
子ども向けイベントの開催	子どもたちが区立図書館のイベントに楽しく参加し、図書館や読書に親しむきっかけとなるよう、工作会、科学あそび、映画会、人形劇会等を、開催します。	SNS等を活用し、区立図書館のイベントについて幅広く広報活動を行います。	幼児から小学生を対象とした多種多様なイベントを実施した。 ・「人形劇『プー吉・チビのオープニングショー』、『がんばれ ローラーくん』」 参加者：62名 (下落合図書館) ・「Toyama Science Club」 6回 参加者：計151名 (戸山図書館) ・「あおぞら紙芝居」 参加者：30名 (西落合図書館) ほか
			評価
			イベントへの参加から普段図書館に馴染みのない層に対して、周知及び図書館に興味を持ってもらうきっかけとなった。
			課題
中央図書館			イベントをきっかけに、図書館利用に繋がれるような企画を考える必要がある。

34	内容	期間中の目標	令和6年度実績
区立図書館の団体利用	幼稚園・保育園・子ども園等が子どもたちを連れての来館や、学校の授業の一環として学年単位、クラス単位で来館する団体を受入れます。 また、図書館の利用が身近になるよう、利用団体と連携し、図書館の説明やお話し会を実施します。	子どもたちが図書館に親しみを感じ、利用促進につながるよう、引き続き団体の受入れを実施します。	教員等に対して社会科見学を受入れの際、図書館の団体利用の使い方を説明した。 ・東戸山小学校、牛込仲之小学校、余丁町小学校の2年生174名を受け入れ、障害者サービスの拠点館として、拡大読書器やマルチメディアデジター等の紹介を行った。 (戸山図書館) ・淀橋第四小学校2年生、柏木小学校2年生・柏葉学級、ほっぺるランド北新宿が来館し、図書館見学や動画制作を行った。 (北新宿図書館) ほか
中央図書館			評価 図書館の利用促進に寄与することができた。
			課題 図書館見学、職場体験に関しては園や学校側の要望を確認し、各団体ごとのプログラムを作成していけるように団体との関係を密にしていける必要がある。
35	内容	期間中の目標	令和6年度実績
中学生・高校生等の図書館サポーター活動の実施	お話し会の実施や中学生・高校生等向け図書コーナーの整備、読書イベントの企画などを行う中学生・高校生のボランティアを募集します。	中学生・高校生等が主体的に図書館運営に携わる工夫をすることで、区立図書館に興味を持ってもらえるようにします。	中・高校生ボランティアが図書館運営の体験を行った。 ・社会福祉協議会の紹介で、都立山吹高校から3回、延べ5名のボランティアを受け入れ、書架整理やおはなし会の読み手などの体験をした。 (戸山図書館) ・新しく四谷インターナショナルスクールの高校生ボランティア1人を受け入れた。 夏から冬にかけては新宿区社会福祉協議会を通じ17人の中学生・高校生が単発でボランティア活動を行った。 (下落合図書館) ほか
中央図書館			評価 ボランティア活動を通じて図書館への関心が高まったと評価できる。 中・高校生で長く活動しているボランティアもいるので、引き続き連携を図っていきたい。
			課題 活動を通じ次世代育成に貢献ができるよう、社会福祉協議会からもボランティア活動で図書館を希望する学生が多いとのことで、周知に努めると共に、今後も積極的にボランティアを受け入れて行く必要がある。

36	内容	期間中の目標	令和6年度実績
団体貸出の充実	子育て支援施設や10名以上のグループに図書の団体貸出を実施します。 区立図書館窓口での団体貸出と、こども図書館の団体専用資料の貸出が可能です。区内全域で区立図書館の幅広い資料を提供します。	子どもたちの身近な場所で区立図書館の本を利用しやすくし、地域で多くの本と出会えるように、資料の充実を図ります。	・高齢者施設の団体貸出を含むが、年間2,478冊の団体貸出があった。7団体の保育園・児童関係施設が継続的に来館および貸出・返却を行っており、令和6年度は90回の利用があった。 (下落合図書館) ・近隣の保育園、こども園、児童館、学童、読み聞かせ団体の貸出を継続して行っている。近隣のこども園や幼稚園は、子ども自身でカウンターに貸出手続きを体験させる取組みを定期的に行っている。 (中町図書館) ほか
			評価
			安定的にサービスの提供を行い、多くの施設や団体に幅広い資料を提供することができた。
			課題
中央図書館			利用者の使いやすさはもちろん、地域の子育て施設や学校にも利用しやすい図書館であることが求められる。今後も蔵書構成を考え団体利用がしやすい図書館を目指す必要がある。
37	内容	期間中の目標	令和6年度実績
「新宿区立図書館を使った調べる学習コンクール」の実施	自己解決能力の育成、図書館の利用促進等を図るため、「子ども自身が感じた疑問を区立図書館の資料を使って解決し、そのまとめを評価するコンクール」を地域ごとに実施します。 また、これに向けた講座を学校と区立図書館が連携して行います。 優秀作品は全地域合同の表彰式で表彰します。	引き続き、講座の開催等を通じて子どもたちの調べ学習及びまとめをサポートし、コンクールの応募総数の増加と作品の質の向上を図ります。	例年どおり、地域図書館においては調べる学習コンクールを実施し、これに関連して調べる学習講座や学校へ出張授業、学校訪問を行った。 また、地域コンクールにおいて館長賞及び優秀賞となった作品は全国コンクールへ出品した。 参加校40校 応募総数 2,115点 表彰数 184点 (館長賞17点、優秀賞15点、奨励賞152点)
			評価
			昨年度と比較して応募作品数が198点増加した。子どもたちの知的好奇心を育むイベントや出張授業などで積極的に働きかけた成果だと考えられる。 また、出張授業を通して作品作りの基礎を伝えたことで、応募作品の質も向上した。
			課題
中央図書館			引き続き調べる学習講座や学校へ出張授業、学校訪問等を通じて子どもたちへのサポートを継続することで、子どもたちへの支援を継続する必要がある。

38	内容	期間中の目標	令和6年度実績
大学・専門学校等との連携	区内の大学・専門学校等の学生による子どもの読書活動へのボランティア協力を得るため、大学・各種学校との連携を図ります。	引き続き区内の大学や専門学校等と連携し、学生のボランティア活動への参加を図ります。	・目白大学の講師の協力のもと、工作や絵本の読み聞かせ、手遊びの行事を行った。 (西落合図書館) ・第3・4土曜日に行っている「おはなし会」を早稲田大学幼児文学研究会が開催している。 (鶴巻図書館) ・早稲田大学大学院生との協働事業、「Hello! 楽しく遊ぼう! 英語のおはなし会」を実施した。 (下落合図書館) ・東京理科大学大学院と提携し、「算数わくわくランド講座」を2回実施した。算数を使ったゲームなど、楽しみながら学べる内容、開催に合わせて講座内容に関連した本の展示も行った。 (中町図書館)
			評価 イベントを通じて、学生と区民が交流する場を設けることができた。 また、学生にとって図書館での事業実施を通じて教育の機会にもつながっていると評価できる。
			課題 図書館側が主体となったイベントが多いため、大学生の意見を取り入れたイベントの開催が求められる。 引き続き近隣大学との連携を行い、参加者と講師の学生どちらにも有意義な時間を提供できるよう努めていく必要がある。
中央図書館			
39	内容	期間中の目標	令和6年度実績
読み聞かせ講習会の開催	小学校の図書ボランティアや保護者を対象に読み聞かせ講習会を開催します。	学校や地域で読み聞かせのボランティア活動ができるように、講習会を実施します。	小学校の図書ボランティアや保護者の読み聞かせに必要な知識の習得や基本的な技術の向上を図るとともに、読み聞かせに対する不安や悩みを軽減するため講習会を実施した。 ・「読み聞かせ講習会」 参加者：20名 (こども図書館)
			評価 読み聞かせの心構えや子どもに与える影響などを学ぶことで参加者全員が共通理解を持って読み聞かせを行うことができた。
			課題 講習会修了者に活動の場を提供していく必要がある。
中央図書館			

40	内容	期間中の目標	令和6年度実績
学校向け新刊選書リストの作成・提供	区立図書館が、購入した新刊本の中から学校図書館の選書に役立つように図書リストを作成し、区立小・中学校に提供します。	学校のニーズや利用状況を把握する機会を充実させて資料購入を行い、新刊選書リストに反映します。	区立図書館購入の新刊本の中から学校の授業に役立つ資料等をこども図書館職員が選定、内容の説明を加えて新刊選書リストを作成し、区立学校へ送付した。選定は学校図書館支援員より把握した学校のニーズを踏まえて行った。 リストは学校イントラネットへも掲載した。
			評価 各教科の単元で活用できる資料にはその旨を記し、提供したことで学校の授業に役立てることができた。
			課題 学校のニーズや利用状況を把握する機会を充実させて資料を購入し、新刊選書リストに反映する必要がある。
中央図書館			
41	内容	期間中の目標	令和6年度実績
中学生・高校生等向けイベントの実施	中学生・高校生等への読書支援を学校と連携しながら検討していきます。 また、区立図書館への来館のきっかけとなるよう中学生・高校生等向けイベントを実施します。	学校やイベント参加者の声等を参考に、中学校や高校と連携して、中学生・高校生等向け読書イベントを実施し、区立図書館利用につなげていきます。	中学生・高校生等の図書館利用促進の機会とするため、イベントを実施した。 ・「日本から難民キャンプへ。旅する絵本のものたり」 参加者：6名 (こども図書館) ・「ボードゲームの世界ようこそ!!」 参加者：12名 (こども図書館)
			評価 参加者数が伸びなかったものの、中学生・高校生等の交流の機会を設けるとともに、手や言葉を使うことによる語彙力や表現力、コミュニケーション能力の向上につなげることができた。
			課題 中学生・高校生等の意見を取り入れたイベントを企画したり、情報発信の方法、イベント内容や開催日時について検討し、参加者の増につなげていく必要がある。
中央図書館			

42	内容	期間中の目標	令和6年度実績
学校図書館の運営の充実	子どもが進んで学校図書館を利用し、活用できるよう、図書検索システムを活用した蔵書管理及び定期的な蔵書の更新によるバランスのとれた蔵書構成を目指すとともに、司書等の資格を持つ学校図書館支援員を配置します。 また、保護者や地域協働学校の支援部などの学校ボランティア等と連携して、学校図書館運営の充実に努めます。	学校図書館担当教員等と学校図書館支援員、学校ボランティアが連携を図りながら、適切な蔵書管理及び図書展示や授業支援、読み聞かせ等を行い、学校図書館の運営の充実に努めます。	他校で実施された読書活動を図書館スタッフ全体研修で学んだことを活かし、図書展示等の充実に図った。 また、ボランティア等と連携し、読み聞かせを行うなど、学校図書館の利用促進を図った。
			評価 教員等と連携しながら、工夫を凝らした図書展示等により、学校図書館の運営の充実ができた。
			課題 子どもたちの学校図書館への期待を高め、さらなる利用につながるよう工夫していく必要がある。
教育支援課	学校図書館支援員を（週2回程度）配置し、購入図書の選書支援、児童・生徒の読書案内、レファレンス等を行うことで、子どもの読書活動を推進するとともに、調べ学習など、教育活動で学校図書館を一層活用していきます。	教員と学校図書館支援員が連携しながら、子どもたちの学校図書館への期待を高め、学校図書館の利用促進を図ります。	学校図書館支援員を全区立小中に配置し、図書購入や児童生徒の読書案内・レファレンスを行った。 学校図書館支援員の配置：39校 学校図書館活用推進員の巡回：40校
			評価 学校図書館の充実に図ることができた。
			課題 学校図書館支援員が中心となって、教員と連携しながら、子どもたちの学校図書館へ期待を高め、利用につながるよう工夫していく必要がある。
43	内容	期間中の目標	令和6年度実績
学校図書館への学校図書館支援員の配置	学校図書館支援員を（週2回程度）配置し、購入図書の選書支援、児童・生徒の読書案内、レファレンス等を行うことで、子どもの読書活動を推進するとともに、調べ学習など、教育活動で学校図書館を一層活用していきます。	教員と学校図書館支援員が連携しながら、子どもたちの学校図書館への期待を高め、学校図書館の利用促進を図ります。	学校図書館支援員を全区立小中に配置し、図書購入や児童生徒の読書案内・レファレンスを行った。 学校図書館支援員の配置：39校 学校図書館活用推進員の巡回：40校
教育支援課			評価 学校図書館の充実に図ることができた。
			課題 学校図書館支援員が中心となって、教員と連携しながら、子どもたちの学校図書館へ期待を高め、利用につながるよう工夫していく必要がある。

44	内容	期間中の目標	令和6年度実績
学校図書館の蔵書の充実	学校図書館において、魅力ある図書や教科に直結した調べ学習に必要な資料の充実を図ります。 蔵書を計画的に更新するとともに、区立図書館と連携し配本サービスを活用します。 また、児童・生徒のニーズの反映を図るため、児童・生徒が選書に参加する仕組みについて検討します。	引き続き、各校の学校図書館図書標準数に対し毎年7%程度の学校図書の更新を行います。 学校図書館の資料及びタブレット端末を活用した調べ学習等を支援する仕組みを検討します。 また、児童・生徒が選書に参加する仕組みを検討し蔵書の充実を目指します。	【図書更新】 ・小学校 16,272冊（更新率 7.0%） ・中学校 6,057冊（更新率 6.9%）
			評価 学校図書館図書標準数に対して、約7%の学校図書館の更新を行い、区立図書館の配本サービスを活用しながら、授業の単元に関連した図書の提供ができた。
			課題 学校図書館とタブレット端末を活用した自学自習・調べ学習等を支援する仕組みづくりが必要である。
中央図書館教育支援課教育指導課			
45	内容	期間中の目標	令和6年度実績
校内読書環境の整備	学校図書館検索システムを活用し、図書の分類・配架の工夫、本の内容紹介コーナーの設置等、学校図書館の読書環境整備を行います。	子どもたちの学校図書館への期待を高められるよう、教員と学校図書館支援員が連携しながら読書環境を整備します。	学校図書館支援員が児童・生徒へ向けたオリエンテーションを実施するとともに、館内の展示整備などの読書推進支援を行い、単元や授業の内容に関連した図書展示等の充実を図った。また、放課後等に学校図書館を開放し、読書活動の推進と自学自習や調べ学習ができる環境を確保した。
			評価 学校図書館支援員と教員が連携し、工夫を凝らした図書展示等により、校内読書環境の整備を図ることができた。
			課題 学校図書館支援員が中心となって、教員と連携しながら、子どもたちの学校図書館へ期待を高め、利用につながるよう工夫していく必要がある。
教育支援課			

46	内容	期間中の目標	令和6年度実績
学校図書館の放課後等開放（小学校）	小学校の学校図書館を放課後等に児童に開放し、読書活動をより一層推進するとともに、学校図書館検索システムやインターネット等を活用した調べ学習、自学自習ができる環境を整備します。	引き続き、区立小学校の学校図書館を放課後等に開放し、読書活動の推進を図ります。	小学校全校で放課後等開放を実施し、読書活動の推進と自学自習や調べ学習ができる環境を確保するとともに、放課後子どもひろば等と連携し、利用促進に取り組んだ。
			評価 小学校全校で放課後等開放を実施し、放課後等における学校図書館の利用促進を図ることができた。
			課題 小学校全校において、放課後子どもひろば等と連携し、より一層、子どもたちの読書活動を推進する必要がある。
教育支援課			
47	内容	期間中の目標	令和6年度実績
読書感想文の募集	毎年、区立小・中学校の児童・生徒から読書感想文を募集します。 また、集まった読書感想文を電子データ化し、タブレット端末等での閲覧ができるよう学校図書館や区立図書館に提供し、読書の案内役として役立たせます。	区立小・中学校から募った作品を電子化し、区立小・中学校全校で共有します。各学校では、電子データと、これまで発行した読書感想文集「けやき」を活用しながら、学校図書館や区立図書館の蔵書として本との出会いのきっかけとなるよう読書活動を推進します。	区立小・中学校全校から読書感想文を募り、小・中学校合本で『令和6年度小学校・中学校読書感想文集「けやき」第40集』を発行した。区立学校全校の学校図書館に配架した他、区立図書館・児童館・子ども総合センター及び子ども家庭支援センターに配布した。
			評価 各学校、読書指導において活用するとともに、学校図書館の蔵書として、本との出会いのきっかけになった。
			課題 読書指導での効果的な活用のため、令和7年度以降は、児童・生徒がタブレット端末から閲覧できるよう、児童・生徒の作品を電子化する必要がある。
教育支援課			

48	内容	期間中の目標	令和6年度実績
読書感想文の表彰	小学校低学年・小学校中学年・小学校高学年・中学校からそれぞれ「最優秀賞」及び「優秀賞」を選出して表彰します。	優秀作品については、「最優秀賞」「優秀賞」として、表彰します。	小学低学年・小学中学年・小学高学年・中学校からそれぞれ1作品を「区長賞」として表彰した。また、小学低学年・小学中学年・小学高学年各3作品と、中学校2作品を「優秀賞」として表彰した。
			評価 「区長賞」や「優秀賞」を受賞した児童・生徒や学校にとって励みとなった。
教育支援課			課題 児童・生徒や保護者、引率教員等の負担軽減のため、令和7年度以降は、教育センターに集合しての表彰式に替えて、「最優秀賞」「優秀賞」等の表彰を各校の全校集会等の中で実施を検討する必要がある。
49	内容	期間中の目標	令和6年度実績
図書館利用指導の推進	学校図書館や区立図書館の利用方法を区立小・中学校の児童・生徒に区立図書館と連携し、指導します。	子どもたちが図書館を活用できるように、適切な時期に学校図書館・区立図書館の利用方法について指導を行います。	学校図書館・区立図書館の利用方法について指導を行った。 「こどもの読書週間」期間中に「としょかんクイズ2024」を実地した。図書館の利用方法をクイズ形式で知ってもらった。 (北新宿図書館) 社会科見学に積極的に受け入れ、東戸山小学校2年生(33名)、牛込仲之小学校2年生(68名)に対して、絵本の読み聞かせや図書館の使い方の説明を行い、図書館利用を推進した。また、余丁町幼稚園の5歳児クラスに図書館案内を行った。 (戸山図書館) ほか
			評価 イベントや社会科見学などを通じて、図書館の利用案内やマナー、周りの人への気遣いや本を大切にすることなどを周知することができた。 普段から図書館を利用している生徒も多数いるが、延滞など細かなルールについて紹介することで、図書館利用の知識を深めることができた。
			課題 学校生活の中で図書館利用が促進されるよう、図書館により親しみが持てるような整備環境と利用案内を行っていく必要がある。
中央図書館 教育支援課 学校等			

50	内容	期間中の目標	令和6年度実績
スクールスタッフの活用	地域特性を活かした教育活動を展開するため、学校のスクールスタッフを活用し、学校図書館における読み聞かせなど読書活動を支援します。	学校に必要な人材を地域から受け入れ、より一層、地域特性を活かした教育活動を展開します。	スクールスタッフを活用した図書館整備や読み聞かせなどを行った。 【活動校数】小学校21校、中学校7校 【活動回数】小学校896回、中学校519回
教育支援課			評価 本の選書や整理、読み聞かせを行うなど、読書活動支援ができた。 課題 スクールスタッフを活用し、より一層、地域特性を活かした教育活動を展開していく必要がある。
51	内容	期間中の目標	令和6年度実績
朝読書の推進	区立図書館等と連携し、団体貸出しや朝読書セットを活用することで、各区立学校における朝読書内容の充実を図ります。	朝読書の時間を確保し、読書習慣の定着を図ります。 また、学校図書館研修会や担当教員連絡会を活用し、朝読書等における指導の充実を図ります。	学校図書館担当者連絡会で区立図書館との連携について周知し、団体貸出しや朝読書セットを活用した朝読書を推進した。
教育支援課			評価 朝読書の時間を通じて、読書に親しむとともに、学校図書館の利用促進につながった。 課題 朝礼や朝学習など、他の取組みとの調整を行い、各学校において計画的に朝読書の時間を確保していく必要がある。
52	内容	期間中の目標	令和6年度実績
学校での研修の充実と指導資料の作成	区立小・中・特別支援学校の教員及び図書館スタッフ等を対象に、「読書センター」「学習センター」「情報センター」としての学校図書館活用に関する研修を行うとともに、学校図書館を効果的に活用するための資料を作成します。	区立小・中・特別支援学校の教員を対象として、学校図書館教育の充実を図るための研修を実施します。 また、区立図書館との連携についても引き続き推進します。	区立小・中・特別支援学校の教員を対象として、学校図書館教育の充実を図るための研修会を年1回実施した。 また、学校図書館教育推進委員会リーフレット「しんじゅくの学校図書館」を作成し、児童・生徒が主体となった選書の工夫や、図書委員会が中心となった読書活動推進の取組事例等を紹介した。
教育支援課			評価 子どもたちの読書週間を形成する「読書センター」としての学校図書館活用に向けた各学校の取組みや工夫を共有することができた。 課題 子どもたちが意欲的に読書に親しむことができるよう、読書推進の取組をより一層充実させていく必要がある。 また、地域図書館との連携についても引き続き推進していく必要がある。

53	内容	期間中の目標	令和6年度実績
学校と区立図書館との連携推進	図書館見学や職場体験を区立図書館が受け入れます。 また、団体貸出や区立図書館職員の学校訪問等を実施し、学校と区立図書館との連携を推進します。	引き続き教員研修や図書館見学、職場体験を区立図書館で受け入れます。その際に、学校と区立図書館が意見交換をする場を設け、実施している事業の充実を図ります。	教員研修や図書館見学、職場体験を受け入れ、学校との意見交換を行った。 また、学校に対する団体貸出も継続して行った。
			評価 図書館見学や職場体験を通じて、図書館員の仕事をより身近に感じてもらうきっかけとなった。 また、事前打合せで区立図書館と学校が意見交換を行い、事業の充実を図った。
			課題 引き続き、教員研修や図書館見学、職場体験の受け入れを行い、区立図書館と学校との意見交換の場をより多く設ける必要がある。 学習支援に役立つプログラムの開発、読書やイベント情報の提供などについて継続的に連絡を取り、情報交換することが必要である。
中央図書館 教育支援課			
54	内容	期間中の目標	令和6年度実績
幼稚園・保育園・子ども園等の絵本コーナーの整備	子どもたちが様々な本と出会えるよう、園の環境に応じて絵本コーナーの環境を整えます。	引き続き、子どもたちの興味・関心が湧き、自分で読みたいような本に出会えるよう、絵本コーナーを整備します。	椅子の配置や分類の仕方等を工夫し、絵本コーナーの環境を見直した。また、保育室内の絵本コーナーとは別に複数の職員が選定した貸出絵本コーナーを設置している。 発達や年齢、季節等を考慮し、絵本の入替えを行う等、子どもたちが興味を持った絵本に親しむことができるよう工夫を行った。
			評価 絵本コーナーを見直したことで、展示絵本が貸し出されるようになったほか、子どもたちが絵本を元の場所に戻すようになった。 落ち着いた場所で絵本の世界を楽しめるような絵本コーナーを作ったことで、座ってじっくりと絵本を楽しむ子がいた。
			課題 破損した本が分かりやすい状況にし、職員が協力して修理できるように工夫する必要がある。 園での絵本コーナーをきっかけとし、保護者も絵本に興味を持ち、家庭での絵本の読み聞かせに繋がれるような工夫が必要である。
学校運営課 保育課 保育指導課			

55	内容	期間中の目標	令和6年度実績
幼稚園・保育園・子ども園等と区立図書館の連携	多くの本とふれあう機会として、子どもたちと近隣の区立図書館を訪問します。 また、季節の本や図鑑などを子どもたちが手に取れるよう、団体貸出を活用し、図書コーナーの充実に努めます。	引き続き団体貸出の活用や区立図書館訪問を行い、子どもたちが多くの本とふれあう機会を提供します。	年に5～6回団体貸出を利用し、季節や興味・関心のある絵本等を借り、多くの絵本に触れる機会を作った。また、近隣の区立図書館を園児と訪問し、絵本や紙芝居等の貸出・返却を行った。図書館スタッフによる読み聞かせに参加した。
			評価
			団体貸出により、より多くの種類の絵本と触れ合う機会が提供できた。 また、図書館を訪問し、身近に感じる経験ができていのほか、団体貸出を利用している園も増え、絵本コーナーの充実につながっている。
学校運営課 保育課 保育指導課			課題
			引き続き、団体貸出等により、子どもたちが幅広く絵本に触れられる方法を考えていく。図書館の利用は、家庭によってばらつきがあるので、親しみをを持って利用できるように発信する。 図書館利用のない施設もあるため、積極的な利用を進めていく必要がある。
56	内容	期間中の目標	令和6年度実績
幼稚園・保育園・子ども園等での絵本の読み聞かせの推進	日常的に行う読み聞かせは、子どもの豊かな心情を育みます。 絵本に親しむ機会を設け、個別にまたは友達と一緒に絵本の内容や言葉の楽しさ、美しさに触れ、楽しめるように支援していきます。	引き続き、発達段階や子どもたちの興味・関心に合わせて絵本を選び読み聞かせを行うことで、絵本に親しむ機会を提供します。	年齢発達に応じて絵本の読み聞かせを行っている。活動の合間、自由遊びの時など、日常的に読み聞かせをしている。また、飼育栽培活動や劇遊びなど、活動に入る前に関係する絵本の読み聞かせをした。 読み聞かせボランティアと連携し、絵本を楽しめるような取り組みを行った。
			評価
			発達段階・興味・関心に合わせた絵本の読み聞かせを行い、絵本に親しみ、楽しさに触れる経験ができた。また、繰り返し読んで欲しいと絵本を持ってくる姿が見られた。興味を持った物を調べることで子ども同士の会話も広がった。 地域の方による読み聞かせにより、地域の方と触れ合ったり、親しみを待つ機会になった。
学校運営課 保育課 保育指導課			課題
			発達段階に合わせた読み聞かせの選定が難しい。また、外国籍の子も多く言葉の理解に差がある中での読み聞かせになり、内容によっては興味を持ちづらいことが課題である。 読み聞かせの質や読書後の対話の深まりに個人差があり、職員のスキル向上が課題である。

57	内容	期間中の目標	令和6年度実績
幼稚園・保育園・子ども園等での絵本の貸出	絵本の貸出を行い、親子のふれあいをより豊かにできるようにしています。 図書の充実を図り、借りやすい環境を整え、家庭での読み聞かせや絵本に親しむ機会を支援します。	園にある絵本を家庭でも読むことができるように貸出用の絵本の充実を図ります。	週1回程度、絵本の貸出を実地した。 園内に貸出図書コーナーを設置し、季節ごとに絵本の入れ替えをするなど、様々な絵本に触れられるように工夫した。絵本に関する展示も合わせて設置し、興味や関心を引き出していった。
			評価 「貸出の際の『えほんカード』が絵本の記録となり、我が子の好みを知ることにつながった」など、親子で絵本を楽しむきっかけになった。 親子で絵本を選ぶことを楽しむ姿が見られた。「新しい本を楽しみにしている」との声が多くあり、親子の触れ合いをより豊かにすることにもつながっている。
			課題 学級や幼児の実態に応じ、絵本の貸出を年長だけではなく全学年で行うことや、外国籍の園児にも対応した絵本を充実させることを検討する必要がある。 絵本の貸出期間の設定や取扱いなど、各家庭に分かりやすく周知し、継続的に働きかけていく必要がある。
学校運営課 保育課 保育指導課			
58	内容	期間中の目標	令和6年度実績
幼稚園・保育園・子ども園等における家庭での読書活動の支援	子どもたちの興味・関心のある絵本の紹介や読み聞かせの実践により、絵本を通じて親子が触れ合い楽しめるよう支援していきます。 また、保護者会等の機会に保護者・養育者に助言を行うなど、家庭での読書活動の促進に努めます。	本を通じて親子が触れ合いを楽しめるよう絵本を紹介するとともに、子どもの発達段階についての説明も行うなど、多様な子どもたちの保護者・養育者に対し読書活動を支援します。	1学期に1回、各学年で親子読書を行った。 保護者会や個人面談などの際に、子どもが好きな絵本やクラスにある絵本などを紹介している。 おすすめの絵本を園だよりや掲示等で知らせ、家庭でも絵本に興味を持つように働きかけた。 また、保育士体験会において、参加者に絵本の読み聞かせをする際の見せ方を紹介した。
			評価 親子読書の実施により、「親子で絵本の世界を楽しむきっかけになった」、「おすすめ絵本を図書館で借りた」という声も聞かれた。 保護者が絵本の読み聞かせをしているところを保育参観等で保護者に見てもらうことで、家庭での読み聞かせの充実にもつながっている。
			課題 保護者が実際に本に触れ、読み聞かせをする機会を作ることは、家庭での読書活動を広げる助けとなるため、そのような機会づくりを積極的に行う必要がある。
学校運営課 保育課 保育指導課			

59	内容	期間中の目標	令和6年度実績
子ども総合センター・子ども家庭支援センター・児童館等の読書環境の整備	身近な場所で読書に親しむ機会を提供するため、子ども総合センター・子ども家庭支援センター・児童館等の図書室を整備し、子どもがよりよい本を手に行うことができるような環境づくりに努めます。	引き続き備品の整備や本の展示の工夫等を行い子どもが本に親しむことができる環境を整備します。	読み聞かせ行事に使用した本を目立つ場所に展示した。子どもたちが図書を探しやすくするために、色マークを付けて書架に並べる等、読書に親しむことができる環境づくりに努めた。
子育て支援課			評価 本の展示方法を工夫することにより、子どもが読書に親しんだり、読み終わった本を整頓するなど片付けまで行うようになった。 課題 引き続き、備品の整理や本の展示の工夫などを行い、子どもが本に親しむことができる環境整備を行う必要がある。
60	内容	期間中の目標	令和6年度実績
子ども総合センター・子ども家庭支援センター・児童館等の蔵書の充実	子ども総合センター・子ども家庭支援センター・児童館等の図書室が、様々な分野の図書を収集し、バランスのとれた魅力ある図書室となるよう、図書の充実を図ります。	引き続き、定期的に本の入れ替えを行い、子どもが様々な本を手にする機会を提供します。	古くなった本を廃棄し、人気や希望のある本を導入するなど、蔵書の充実を図った。 また、こども図書館の団体貸出を利用し、子どもが定期的に新しい本を手に行うことができる機会を提供した。
子育て支援課	また、計画的に図書の廃棄・購入を行います。		評価 定期的に本の入れ替えを行うことにより、子どもが興味を持って読書に取り組んでいる。 課題 引き続き、定期的に本の入れ替えを行い、子どもが様々な本を閲覧にする機会を提供していく必要がある。
61	内容	期間中の目標	令和6年度実績
子ども総合センター・子ども家庭支援センター・児童館等での図書貸出の推進	身近な場所で読書に親しむ機会を提供するため、子ども総合センター・子ども家庭支援センター・児童館等の図書室で所有する図書の貸出を行います。	各施設において図書の貸出を実施し、子どもたちが読書を楽しめるように努めます。	図書の貸出しを行うことにより、児童館等への来館をきっかけに興味を持った本を家庭に持ち帰り、より読書に親しむことができるようにした。
子育て支援課			評価 児童館等で興味を持った本を借りて帰り、読書に親しんでいる。 課題 引き続き、多くの親子、児童の本を貸出、家庭でも読書に親しむ機会を提供していく必要がある。

62	内容	期間中の目標	令和6年度実績
保健センターの乳幼児健康診査等の待合場所への絵本の設置	乳幼児健康診査等(0歳児・3歳児)の待合場所に絵本を設置し、保護者・養育者と乳幼児が自由に手に取り読むことができるようにします。	引き続き待合場所に絵本を置き、優れた絵本、魅力のある絵本の充実を図り、家庭で読み聞かせを始めるきっかけづくりとなることを目指します。	令和6年4月からは、各保健センターにおいて乳幼児健診の待合場所に絵本を設置した。
			評価 乳幼児健診の待合場所では、親子で絵本を読む姿が見られ、家庭での読み聞かせを始めるきっかけづくりになるとともに、親子の触れ合いの時間となった。
			課題 各月齢、年齢に合わせた魅力のある絵本をそろえることが課題である。
保健センター			
63	内容	期間中の目標	令和6年度実績
男女共同参画に関する資料の充実	男女共同参画推進センターでは、蔵書管理のシステムを区立図書館と共有し、男女共同参画に関する資料の収集と提供をしています。 センターの専門性を生かした児童及び青少年向けの資料の充実を図ります。	男女共同参画に関する児童書及び青少年向けの専門的資料の蔵書をさらに充実させます。	継続して児童及び青少年向け図書の購入を行うとともに、貸出を行っている。 ・令和6年度 児童・青少年向け蔵書数 児童書 214冊(うち紙芝居30冊) 絵本 577冊、青少年向け図書 245冊 ・児童・青少年向け図書の購入 22冊
			評価 昨年度(計1,006冊)に比べて児童・青少年向け蔵書数は52冊増えており、資料の充実が図られた。
			課題 男女共同参画に関する児童書及び青少年向けの専門的資料の蔵書をさらに充実させる必要がある。
男女共同参画課			
64	内容	期間中の目標	令和6年度実績
子育て支援施設と区立図書館との連携推進	区立図書館の団体貸出を活用し、幅広い図書を提供します。 図書館と子育て支援施設が連携して必要な情報収集や情報交換を行い、子どもの読書活動の推進を図ります。	引き続き団体貸出を活用し幅広い図書を提供していきます。 また、子ども食堂等民間の子育て支援団体との連携について検討します。	図書の団体貸出を活用することにより、子育て支援施設利用者に幅広い図書に触れ合う機会を提供することができた。
			評価 幅広い図書を提供することで、子どもが様々な本を手にし、読書に親しむ機会を創出できている。
			課題 引き続き、団体貸出を活用することにより、幅広い図書に親しむ機会を提供していく。
中央図書館 子育て支援課			